

平成 30 年度 FD 実施計画書

研究科・学部・学科	栄養科学研究科
FD 取り組みへの理念・目標 先端的、かつ国際的レベルでの栄養科学の教育研究を行い、実践を重んじ、専門的知識と技術を備えた栄養科学領域の研究者、指導者並びに実践者の養成を目的とする本研究科の学則の定めるところにより、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施することを本研究科のFD推進の目標とする。	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
①～③の取り組みは、ほぼ同時並行で実施する。	博士前期・後期課程の教育向上のための教育内容、方法、成果の充実を目指して平成 29 年度に実施した FD 活動を継続・発展させ、さらなる充実を図る。 ① 教員の研究指導力・教育力の涵養 ・ 課程修了時だけでなく、在学時にも大学院における学修について記述式のアンケート（無記名）を実施し、アンケート結果を教員に公開して、研究指導および教育の改善に反映されるように FD を実施する。 ・ 平成 29 年度より導入した学位論文複数指導制の効果的な運用を図る。 ②教育内容・方法・環境の改善 ・ 円滑な学位授与を促進するために平成 29 年度に試験実施したりサーチワークの中間発表会を本格的に実施する。 ・ 学修についてのアンケートで要望のあった他学年や他大学との交流について、三大学連絡協議会等を利用して積極的に取り組む。 ・ 地域ニーズに対応したりカレント教育を目指して、博士前期課程のコースワークに社会人の再教育を念頭とした魅力的な教育プログラムを開発する。 ・ 学部との連携によるティーチング・アシスタント (TA) 制度の改革、および大学院生を対象とした給付型奨学金の創設により、学生を経済的に支援するとともに、将来的に教育を担うものとしての自覚や意識の涵養に務める。 ③グローバル教育の推進 ・ 他研究科や他大学大学院との相互協力、外国人学生の積極的な受け入れなどにより、多様な学生と交流し切磋琢磨する環境を整備する。 ・ 英語のプレゼンテーション能力の涵養を目的としたコースワークの創設を検討する。